

## 「白洲正子の目線で楽しむ日本遺産—その祈りと美」



### 概要

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会では、平成 27 年度に認定を受けた日本遺産「琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産」の魅力を発信し、認知度向上を図るため、公益財団法人滋賀県文化財保護協会と連携して、標記の講座およびパネル（画像）展を開催しますので、お知らせします。

### 1 内容

平成 27 年度、琵琶湖とその周辺にある 21 件の文化遺産群が「琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産」として日本遺産第 1 号に認定されました。また、今年度には、竹生島など 5 件の文化遺産が構成文化財として追加認定されたところです。

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会（会長 佐藤良治）では、公益財団法人滋賀県文化財保護協会を実施機関として、日本遺産の魅力を発信し、日本遺産に親しんでいただくため、「白洲正子」の視点による日本遺産の魅力を紹介する日本遺産講座およびパネル（画像）展を開催します。

なお、パネル（画像）展示は、滋賀県立安土城考古博物館および滋賀県立図書館の 2 会場で、巡回展示します。

- ・講座およびパネル展の来場者にリーフレットを配布（先着 500 名）
- ・展示画像パネル 28 枚（各 A1 サイズ）

#### （1）パネル（画像）展「白洲正子の目線で楽しむ日本遺産—その祈りと美」

○展示会場「滋賀県立安土城考古博物館エントランス」

- ・期間 平成 28 年 9 月 10 日（土）～11 月 1 日（火）
- ・参加 自由・無料

○展示会場「滋賀県立図書館ロビー」

- ・期間 平成 28 年 11 月 9 日（水）～11 月 20 日（日）
- ・参加 自由・無料

#### （2）日本遺産講座「白洲正子の目線で楽しむ日本遺産—その祈りと美」

- ・日時 平成 28 年 9 月 11 日（日）13 時 30 分～15 時
- ・場所 滋賀県立安土城考古博物館セミナールーム
- ・講師 公益財団法人滋賀県文化財保護協会 大沼芳幸
- ・参加 自由・無料



## 2 今回の講座・パネル（画像）展の内容・特徴

- ・ 日本遺産とは、地域に点在する文化遺産群を物語（ストーリー）で結び、一体的に発信・PRし、地域の活性化を図ることを目的としています。
- ・ 日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」は、日本最大の湖であり、豊富な歴史資源の源でもある琵琶湖を中核に据え、日々の暮らしや祈りにより育まれてきた文化を「水の文化」としてまとめた物語（ストーリー）です。
- ・ しかし、26件もの構成文化財を直接的に結ぶ物語が存在するのではなく、「水の文化」をテーマにまとめられた日本遺産を紹介する人または訪れる人々が、それぞれの感性で物語を紡ぐことが重要であると考えます。
- ・ そのきっかけとして、今回は、滋賀県にゆかり深い「白洲正子[1910（明治43）～1998（平成10）]」を物語の語り部として、その視点により日本遺産の魅力を紹介することとしました。
- ・ 白洲正子は、滋賀県の風土を愛し、『かくれ里』や『近江山河抄』等の名作で近江を取り上げ、日本遺産構成文化財の多くが彼女の作品に登場します。
- ・ 今回の講座展示では、彼女が感性の柱に据えた「祈りと暮らしが生み出す生きた美」、「日本の古い神と外来の仏が集合して生まれた日本人の仏教」の二つの視点から日本遺産を紹介します。
- ・ 故人の感性を借りた日本遺産の新たな見方として、楽しんでいただければと思います。

## 3 問い合わせ先

### ○日本遺産講座およびパネル（画像）展示について

公益財団法人滋賀県文化財保護協会

- ・ 担当者：普及専門員 大沼芳幸
- ・ 電話：077-548-9780

### ○日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」について

公益社団法人びわこビジターズビューロー

（日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会事務局）

- ・ 担当者：木村敏晴、岡田拓也
- ・ 電話：077-511-1530

## 4 その他

### ○日本遺産「琵琶湖とその水辺景観－祈りと暮らしの水遺産」の概要

- ・ 認定：平成27年4月（追加認定 平成28年4月）
- ・ 構成団体：滋賀県、大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市、長浜市（追加認定）
- ・ 構成文化財：26件（うち追加認定5件）

### ○次回開催予定（11月～12月）

- ・ 「織田信長の目線で楽しむ日本遺産－その暮らしと力」と題した日本遺産講座およびパネル（画像）展の開催も予定しています。